

便利なローラートレイ付広口容器 (特許 第4386785号) の使い方

この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしこくことができる画期的な容器です。下記の使用法に
したがってご使用下さい。使用するローラーバケはミドルローラー やスリムローラーが適しています。

●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。(フタが開くおそれがありますので、注意して下さい)

- ① フタが容器の中に落ちないよう、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印のところが容器の角の間に、マイナドライバーを差し込んでフタを開けます。フタの裏や容器の口の裏に、半乾きの塗料がついていることがありますのでエスで拭き取り、フタは保管しておきます。
- ② 右のようにラップでおおっておくと、洗う手間が無くなり後始末が簡単です。
- ③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。
- ④ ローラーバケを容器の中に入れローラー部分に塗料をつけます。
- ⑤ 天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなく塗布して塗装します。

- ### 容器をラップでおおう方法
- ②-1 サグ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より大きめにカットし、仮の天面全体をおおいます。(ポリ塩化ビニリデンのラップをお使い下さい)
 - ②-2 ラップを容器の天面にフィットするように軽く押さえ、余ったラップを左側に巻きつけます。
 - ②-3 容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みをいれ、ローラーバケが入るようにします。カットしたラップは容器の口の内側へ巻き込みます。
 - ②-4 サグ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサグ手を持って下さい。再度、塗装する時はサグ手をトレイ部に倒しラップも元に戻して下さい。中の塗料が半分以下になった場合、ローラーハンドルを入れたまま持ち運びすると、傾いた(約30°)不安定な状態になりますので、両手で支えて下さい。

- ### 使用上の注意
1. 塗装下地に腐敗面、カビ菌がついている場合があり、その菌が容器内の塗料に混ざり込むと保存中に塗料が変質することがあります。早めに塗料を使い切して下さい。
 2. 落下によりフタが開いたり、容器が変形することがありますので、容器の取り扱いに注意して下さい。

アサヒペン

ソフトなツヤ

無臭
水性

ビッグ10

多用途
1回塗り

- 汚れに強い
- 塩害・紫外線に強い
- 酸性雨・排気ガスに強い

高性能
シリコンアクリル樹脂塗料
超耐久
強力フッ素パワー
紫外線劣化防止剤(HALS)配合

- 1 モルタル
- 2 ブロックベ
- 3 浴室・台所
- 4 屋内外か
- 5 木部・木製品
- 6 ガーデニング
- 7 門扉・鉄柵
- 8 コンクリート
- 9 プラスチック
- 10 その他

強力カビどめ剤配合
強力サビどめ剤配合
乾燥時間
塗り重ね時間の目安
標準塗り面積 (1回塗り)
36~47㎡
タタミ
21~28畳
塗りにくいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

アサヒペン

ソフトなツヤ

無臭
水性

ビッグ10

多用途
1回塗り

- 汚れに強い
- 塩害・紫外線に強い
- 酸性雨・排気ガスに強い

高性能
シリコンアクリル樹脂塗料
超耐久
強力フッ素パワー
紫外線劣化防止剤(HALS)配合

- 1 モルタル
- 2 ブロックベ
- 3 浴室・台所
- 4 屋内外か
- 5 木部・木製品
- 6 ガーデニング
- 7 門扉・鉄柵
- 8 コンクリート
- 9 プラスチック
- 10 その他

強力カビどめ剤配合
強力サビどめ剤配合
乾燥時間
塗り重ね時間の目安
標準塗り面積 (1回塗り)
36~47㎡
タタミ
21~28畳
塗りにくいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

商品名 水性ビッグ10多用途
成分 合成樹脂(シリコンアクリル・フッ素)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、サビドメ剤、防カビ剤、水
特長
●特殊フッ素樹脂、反応硬化型シリコン樹脂、紫外線劣化防止剤(HALS)の相乗効果により、汚れにくく、耐久性が優れた高性能塗料です。
●白系塗料には自動車用にも使用されている高性能酸化チタンを使用しています。

●いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りで仕上がります。
●サビドメ剤、防カビ剤を配合していますので、サビやカビの発生を防ぎます。
●厚塗りしてもムラなく、たいへん塗りやすい塗料です。

●ドア・窓枠・目録板・板べい・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品。
●浴室・台所・玄関などのしっくい・モルタル・コンクリート壁・板壁。
●コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい。
●フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品。
●免治スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック部。
●カベ、布カベ、ユニットバス、浴槽には適しません。熱い水がかかったり、水につかるところやいつも濡れているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面には適しません。

- ### 塗装方法
- ① はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビとり剤で、油分はペイント用溶剤で拭いてよく落とします。
●壁にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
 - ② 塗料がついて固まるころは、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。
 - ③ 塗膜のフクレ・ハガれ防止のため、右の下部処理の注意に当たって下部処理を行います。
 - ④ 右面の「便利なローラートレイ付広口容器の使い方」に従って塗料の準備をします。
●塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●夏期、塗装面が高温となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しうすめて調整します。
 - ⑤ コーナーや塗りにくいところは先にすじいバケで塗ります。
●広い面積の部分はローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使うと速く、楽に塗ることができます。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
 - ⑥ 塗装後1日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかったり、雨や結露によって塗膜が剥れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡が残らない状態)の時間です。

●カビがはえている所は、カビとり剤でカビを取ってから塗して下さい。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水で濯いで下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの温度が高くなる場所、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③ 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

●目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所へ移動し、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合は、大量の水で洗い落とし、痛み又は外傷に变化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意

- ① 表示の用途以外には使用しないで下さい。② 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③ 目に入った時、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して下さい。④ 皮膚に付着したまま放置すると皮膚を乾燥させることがあります。必ず塗料を洗い落とすして下さい。⑤ 塗装中は、乾燥剤を乾燥剤として、その後は塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑥ 塗料が固まらないよう蓋を開けておいて下さい。⑦ 塗料は雨の降りそうない日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑧ 塗料は雨の降りそうない日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑨ 塗料は雨の降りそうない日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑩ 塗料は雨の降りそうない日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。

下地処理の注意

- ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗して下さい。
- ② 旧塗膜を剥がして乾かすときは、必ずアサヒペン強力サビどめ剤を塗布して下さい。
- ③ 土壁・砂壁・せんい壁などに塗るときは、アサヒペン水性下塗り剤またはアサヒペン強力サビどめ剤を塗布して下さい。
- ④ タコやヤニやサビの汚れの上に塗装すると塗膜にニジミが出てきますので、中性洗剤で充分に拭きとるか、アサヒペン強力サビどめ剤を塗布して下さい。
- ⑤ 古いコンクリートやモルタル面に塗るときは、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン強力サビどめ剤またはアサヒペン強力サビどめ剤を塗布して下さい。
- ⑥ カビがはえている所は、カビとり剤でカビを取ってから塗して下さい。

危険
●誤飲性疾患のおそれ
●水生生物に毒性

救急処置
●目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所へ移動し、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合は、大量の水で洗い落とし、痛み又は外傷に变化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

山崎アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客相談窓口 ☎06-6934-0300 日本製 00-1303